# 簡単。WebAR制作

















たったこれだけ。

- 準備
   obj形式の3D素材
   AR.js+A-FremeのHTML雛形
   ARのマーカー
   Webサーバ
- ・作り方
  - 1.「obj形式の3D素材」をWebサーバに配置します。
  - 2.「AR.js+A-FremeのHTML雛形」の2行を、

「1.」の配置先に合わせてパスを修正します。

- 3.「2.」で作成したHTMLをWebサーバに配置します。
- 4.スマホのブラウザで、HTMLを表示して起動した

カメラでARのマーカーを写す。これだけ。







雛形は2行修正する。

html
<html lang="ja"></html>
<head></head>
A-Frame ライブラリの読み込み
<script src="https://aframe.io/releases/0.9.2/aframe.min.js" >
<script src="https://aframe.io/releases/1.0.4/aframe.min.js"></script>
AR.js ライブラリの読み込み
<script src="https://cdn.rawgit.com/jeromeetienne/AR.js/1.7.7/aframe/build/aframe-ar.js" >
<pre><script src="https://cdn.rawgit.com/jeromeetienne/AR.js/2.2.2/aframe/build/aframe.aris"></script></pre>

## カメラで写すARマーカー。





## さらに、このようなのも作れます

# 任意の画像をマーカにして表示









写真ないですが

予め指定しといた

## 指定した緯度経度に表示



# ↓ このページにまとめときました。



### 

### スマホでデモのリンクをクリックして、カメラでマーカーを写すと

- 画像追跡が動いた。(重い。起動に2分ぐらいかかる。)
   ロケーションベースが動いた。空中に文字が表示された。
   マーカーベースが動いた。

### AR. js公式ドキュメント 公式レポジトリ 公式A-frame

- <u>画像追跡のデモ1(恐竜)|マニュアル|NFT-Marker-Creator</u> <u>ロケーションベースのデモ(空中に文字)|マニュアル</u> <u>マーカーベースのデモ(恐竜)|マニュアル|AR.js Marker Training</u>

#### マーカーベースのデモ

- マーカーペースのデモ2(地球) | WebARの概要と実装方法(AR.js)
   マーカーペースのデモ3(キューブ、ロケット) | AR.jsで超簡単AR
   マーカーペースのデモ4(サンタクロース) | AR.js入門
   マーカーペースのデモ5(ハート) | 自作 Free3007リー素材を使用した

### カメラでかざすマーカー



\_ 0 ×